

米田祐太郎 （1877-1944）、支那文學者。明治二十四年九月十一日東京生れ（一八九一）。號華航。明治四十五年東京外國語學校支那語科卒。滿鐵（南滿洲鐵道株式會社）社員、關東廳囑託を経て、支那文藝の翻譯、風俗研究に従事。關係書四十餘冊に及ぶといふ。

著書に、小説『西太后他二篇』（昭和二年一月）二十九頁支那文献刊行會）、『支那風俗奇談集』（米田華航名、昭和五年二月八百博文館）、

『支那の商人生活』（昭和十五年十一月）二百頁教材社）、『生活習慣

中支那篇』（昭和十六年十一月十五日教材社）等。譯書に、『原文支那

童話歌謡研究』（大正十四年四月十八日大阪屋敷書店）、『繪圖土嬌

梨』（昭和二年一月十五日支那文献刊行會）、『紅縁記』（昭和二年

九月十五日支那文献刊行會）、『支那狼談集』（昭和二年十一月）二十

五頁支那文献刊行會）、支那文献刊行會版『支那珍籍全集』（『戀愛

占易』（昭和二年四月）二十頁刊、『風流八絃』（五月）二十七頁刊、『支那

艶詩選』（六月）二十七頁刊、『瀧真後史』（九月）二十七頁刊）等がある。

